

TOTO



化粧鏡

LMA500型



製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

1) 安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

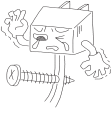
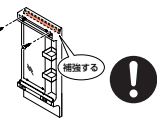
表示	意味
 警告	この表示を無視して誤った取り付けをすると、 ●死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り付けをすると、 ●人が損害を負う可能性が想定される内容 ●物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

* 本体の取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

<p>電気配線工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者」が行う火災や感電の原因となります。</p> 	<p>電源は交流100Vを使用する 交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因となります。</p> 	<p>電気コードを傷付けない 電気コードを傷付けると漏電および火災の原因となります。特に壁固定の際は気を付けてください。</p> 
<p>浴室など湿気の多い場所へ設置しない 漏電により感電するおそれがあります。</p> 	<p>壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強する 化粧鏡が落下しケガをするおそれがあります。</p> 	<p>コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない化粧鏡が落下するおそれがあります。また、トラッキングによる火災の原因となります。</p> 

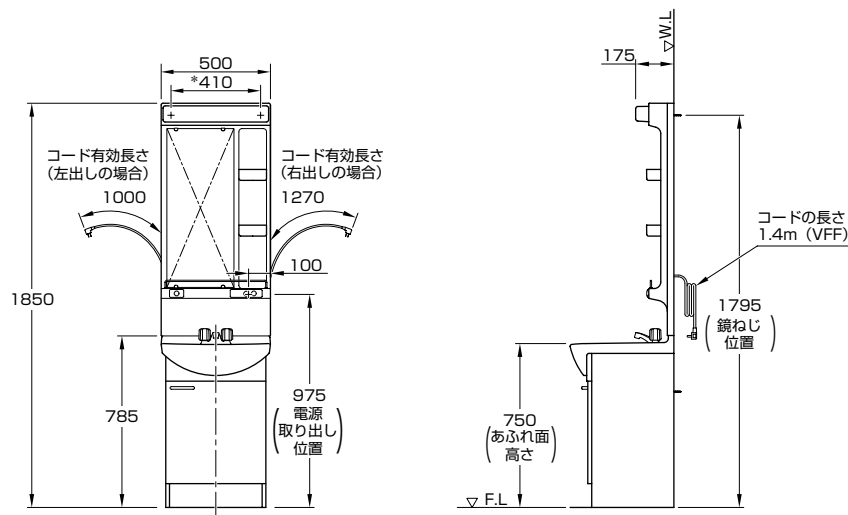
⚠ 注意

<p>照明カバーは確実に取り付ける 落下してけがのおそれがあります。</p> 	<p>工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガツキ・丁番のゆるみがないか必ず確認する 使用中にキャビネット・扉が落下してけがをする原因となります。</p> 
--	---


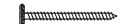
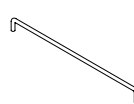

2) 工事寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 図は、化粧鏡LMA500型です。

* 印の寸法は木ねじ位置を示します。



3) 付属部品明細

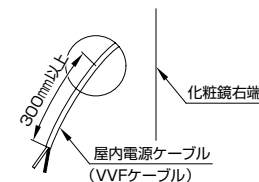
歯ブラシ立て	壁固定用木ねじ
1セット 	4本 
ガードバー 	取扱説明書 
1本	1冊

電気工事

※必ず電気工事店にて工事してください。

【化粧鏡を直結線にする場合】

- あらかじめ電気工事店様様へお願いして下図のように電源ケーブルを取り出して置いてください。
- ※取出位置は工事寸法を参照してください。



4) 施工上の注意

- 鏡を置く場合は、床に必ず緩衝材（ダンボールなど）を敷いてください。

5) 取付前の注意

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
(壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)
- ※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。プラグ用の下穴は必ずご使用のプラグの指定のドリル径であけてください。

6) 化粧鏡の取付手順 (番号順に取り付けてください。)

※取付壁面がゆがんでいる場合は、鏡がゆがむことがありますのでゆがまないよう、木ねじのねじ込み度を調節しながらねじ込んでください。壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面に当て木をしてください。

蛍光灯ランプを固定している左右のテープを取り除いてください。

固定金具

化粧鏡

照明カバー

1 電源コードを本体側面の溝から外に出しておく

2 化粧台の上ののせる (化粧鏡側)

化粧鏡

化粧台

(化粧台側)

3 左右の位置に合わせをする

4 木ねじで確実に壁固定する (φ4.5×50)

5 蛍光灯本体の周波数は50Hzにセットされていますので、60Hz地域でのご使用の場合はスイッチを60Hzに切り替えてください。

50Hz→60Hz

切り替えはスイッチをスライドさせてください。

6 照明カバーを取付ける

7 差し込みプラグをコンセントに接続する

※コードを束ねたまま接続しないでください。
※プラグ差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますのでご確認の上接続してください。

照明カバーの着脱方法

●はずしかた

●取付けかた

固定金具

固定金具

ガチッ

カバーの上側を矢印の方向に回転させながらはずしてください。

カバーの上側を矢印の方向に押し、「ガチッ」と音がするまで上部2ヶ所にある固定金具に確実に押し込んでください。

直結配線の場合

※必ず「有資格者」が行ってください。

1 照明側 (向かって右) のコンセント部を取り外してください。

1 コンセントスイッチパネルを外す

屋内用電源ケーブル

取付枠

木ねじ

コンセントスイッチパネル

2 木ねじを外し、取付枠を外す

3 屋内用電源ケーブルを本体に通す

4 ④ドライバーで押しながら、電源コードを引っ張って取り外す

電源コード

④ドライバー

2 コンセント部の接続と取り付けをしてください。

1 屋内用電源ケーブルを差し込み、接続する

接続は確実に行う

黒

白

屋内用電源ケーブル

2 取付枠を木ねじで固定し、コンセントスイッチパネルをはめ込む

取付枠

木ねじ

コンセントスイッチパネル

切り欠き

ケーブルは切り欠き内に戻す

7) ガードバーの取付手順

●ガードバー (付属品) を化粧鏡棚板部のプッシュへ差込んでください。

ガードバー

プッシュ

棚板部

8) 取付完了後の確認と清掃

- 製品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
 - 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。
 - くもり止めヒータースイッチを入れて、スイッチ内のランプが点灯することを確認してください。
 - コンセントに電気カミソリなどを差し込み、通電することを確認してください。
 - 製品に付いた汚れ (プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む) は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
- その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからふきしてください。
- シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。